

平成25年度 第1回たつの市行財政改革推進委員会会議要録

開催日時：平成25年7月2日（火）午前10時00分～

開催場所：市役所3階 第3委員会室

出席者：委員12名、市長、行政改革推進室長、事務局

1 会議内容

委 嘱

- 議 事
- (1) まちづくり改革プラン及び同実施計画の状況について
 - (2) 外郭団体等に関する行政改革プラン（案）について
 - (3) その他

2 議事内容

(1) まちづくり改革プラン及び同実施計画の状況について

平成23年度決算に基づく本市財政状況（決算カード抜粋）について事務局から説明し意見交換。主な意見等の要旨は次のとおり。

（委員） 地方税徴収率が県下28位と悪いが、時効になった金額はどれくらいか。

（事務局） 不納欠損については、税務課で適正に処理している。金額については資料がないためすぐお答えできない。

（委員） 税務課に尋ねたところ、合併した市町は徴収率が悪いということであった。もっと国や県レベルで、滞納整理の仕方について対応すべきではないか。

（事務局） 税務課によると、県の徴収専門班の協力を得るなど徴収率の向上に取り組んでいるが、社会経済情勢もあって大きな改善には至っていない。

（委員） 現年度徴収率より過年度分を加えた方が順位が上がる市町が多いのは、やはり不納欠損処理に力を入れているためか。

（委員） 税務課だけでなく、市全体で取組みを考えていかなければならない。都市計画税は、合併により旧町でも課税されることになったが、まだ馴染みがなく納税意識が欠けているのではないか。そういった詳細な分析が必要である。

（委員） 差押えによる公売もされているようであるが。

（事務局） 差押えしても換価できるとは限らず難しい面もあるが、最近ではインターネットなども活用している。

（委員） 滞納者に厳しい対応をしている市町は徴収率がいいのではないか。上位の市町のやり方も参考にしたい。

平成24年度まちづくり改革プラン及び実施計画の進捗状況について事務局から説明し意見交換。主な意見等の要旨は次のとおり。

（委員） まちづくり改革プラン個別項目進捗状況表の効果額欄で、金額として効果が出ない項目には斜線が引かれている。効果が数字では表せないということであろうが、何らかの形で標記しなければ取組み状況が分からない。他市の例では、目標に対する進捗度をA・B・Cで評価しているところもある。平成21年度の本委員会資料はそうになっていた。

- (事務局) 昨年度策定した「まちづくり改革プラン実施計画（平成２５年度～平成２８年度）」では、効果を表す指標として金額の他に効果値を取り入れている。
- (委員) 削減だけでなく経費が新たに生まれる取組項目も増えているので、今後はそれを踏まえた形で効果額を算定する必要がある。
- (委員) 災害時の指定避難所にかけ崩れで危険な箇所がある。地元が整備するなら自立のまちづくり事業の補助金があるが、年間上限額が３０万円では単年で対応できない。災害はいつ起こるか分からないので、市で対応して頂くか補助金額の見直しを検討して欲しい。
- (事務局) 自立のまちづくり事業は、公共施設の補修活動であれば２０万円、里山整備活動であれば３０万円が支援限度額で、複数年の計画で実施されている団体もある。補助金の上限額を上げると、工事規模も大きくなり参加者の負担も増える。現状の補助金の範囲での活動として頂きたい。
- (委員) 取組項目の中で中長期の方針を明確にする必要がある。公有財産の利活用であれば、対象物件を全て洗い出したうえで、活用方法について大きな方針を示すべきではないか。
- (事務局) 実施計画は、現状と課題を示したもので、課題解決に向けた個別の事業については、担当課で方針を立てて実施しているのでご理解願いたい。
- (委員) 年次の計画の中に入っているのであれば結構である。

(２) 外郭団体等に関する行政改革プラン(案)について

外郭団体等に関する行政改革プラン(案)について、プランの改定内容を事務局から説明。質問・意見はなし。

(３) その他

行政改革推進室の年間事業計画について、事務局から説明。質問・意見はなし。